『使いものになる』ソフトウェア開発

北村 純一

"Usable" **Development** Software

氏名 Name

Group A Group B

Group C

小川 祐史 今泉 孝子

渡辺 貴充

加賀谷 聡 夏見 庸平 西本 和弘

澤井 佑紀 久保 潤也

松山 佳祐 林 志洋 富田 良

Rvo Tomita

高久 哲生 千田 俊輔

花井 貴士 Takashi Hanai

概要 Abstract

使い物になるソフトウェア開発

本プロジェクトのコンセプトにおいて「使い物になる」とは、プログラムである システム面、依頼者との打ち合わせのコミュニーケーション面、ユーザの 立場を考慮するユーザインタフェース面のすべてを含んだものを意味する。 本プロジェクトでは、ソフトウェア開発の依頼から納品までを行うこと によって、『使い物になる』ソフトウェア開発を行う能力を身につける。

"Usable" in this project contains all of the following three: 1) System Design, 2) Communication and 3) Cognitive Analyses. This project develops "Usable" software.



納品

Delivery





外部設計 **Outside Design**

UI仕様書

<mark>画面遷移図</mark> Screen Transition Chart

要求定義書

テストTest

プログラミングテスト Usability

内部設計 Inside Design

プログラミング・データベース Programming And Database

Webデザイン

サーバ構築 Server Construction







Costomor Managerial system

ユーザビリティエンジニ 乾様 Usability Engineer Rental Estimate&Management System

NP0法人市民創作 「函館野外劇」の会構 Hakodate Yagaigeki ケット予約システ

Ticket Reservation System

まとめ Summary



システム設計

お客様から依頼されたシステムを作り上げることで、プログラミングスキルを向上させるだけでなく 要求から納品するまでの開発プロセスを学ぶことができた。

この経験を今後の大学生活や、就職した時にに活かしていきたい。

We have learned not only programing skill but also development process from request to delivery making required system by customers. We will utilize those experience in the future, including the rest of our university life.

顧客との連絡の取りあいや打ち合わせを通して、相手が本当に希望している事を把握できる質問の仕方を学んだ。 相手のバックグラウンドをコミュニケーションを通して理解してから開発を始めるということの重要性を知った。

Through meeting and communicating with customers,

we found out some tips on how to ask questions so that developers can understand the real needs of the customers. We also figured out that starting development after understanding customer's background through communication is also important.



認知プロセス分析

認知プロセス分析とは人が物とインタラクションする様子を観察し、人がそのものに対してどのように 思っているかを分析するというものである。私たちは、認知プロセス分析の手法を学び実際に ユーザビリティテストやビデオリフレクションを行うことで、システムをよりよいものにすることができた。 Cognitive Analyses process is to observe how human interacts with objects and to analyse how they perceive the objects. Our project has improved the system using the analysis in the usability test and reflective activities using video recorded data.